

とだの保育創造プロジェクト会議

～産学官協働による保育人材確保・定着化事業～

戸田市役所こども青少年部保育幼稚園室

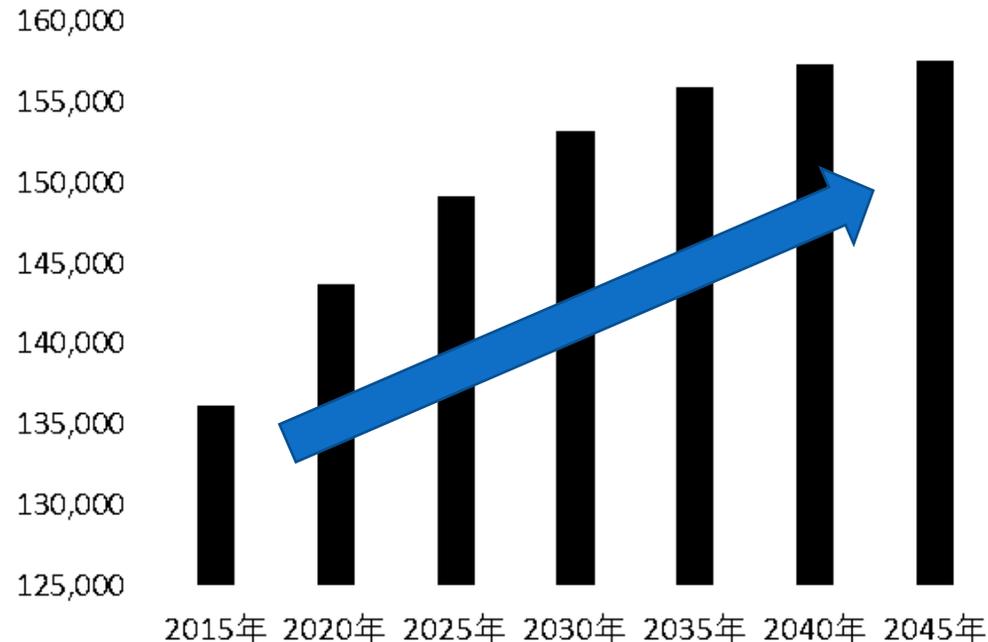
取組の背景

～人口増加が続き保育需要が高まっている～

① 将来推計人口は15.8%増

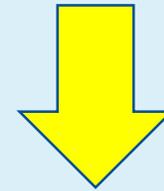
人口減少社会において2045年の将来推計人口は2015年の15.8%

戸田市(将来推計人口2015-2045)



② 県内で23年連続一番若いまち!! 平均年齢40.5歳

子育て世代の流入により、保育需要が高まっている。



③ 待機児童数が県内ワースト1位

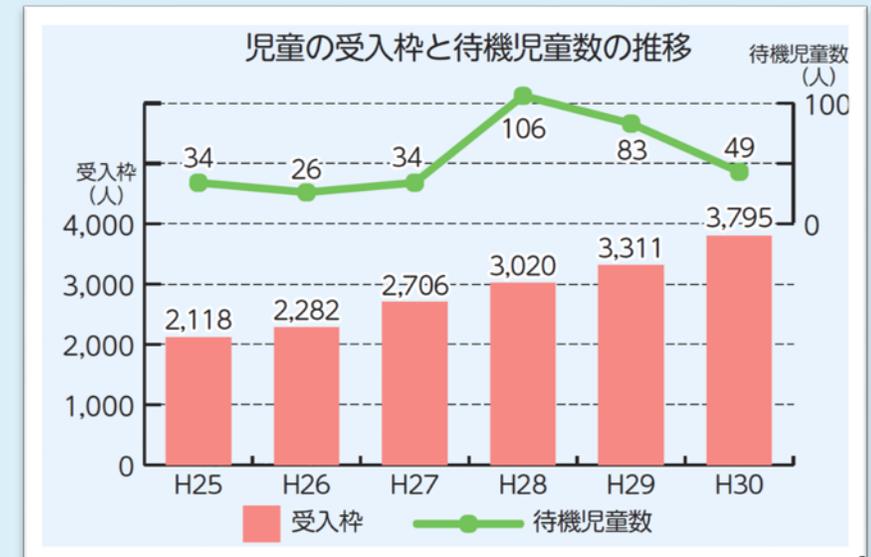
平成28年4月 106人 (旧定義)

待機児童対策～受入枠の拡大と保育人材の確保～

平成28年6月「待機児童緊急対策本部」設置

平成28年10月「待機児童緊急対策アクションプラン」策定

受入枠の緊急拡大	保育人材の緊急確保
認可保育所の定員弾力化運用の拡大	就職支援給付金 就職時20万円、翌年10万円 (H29年度～H31年度)
認可保育所の開設	年間20万円の賞与上乘せ補助 (H30年度～H34年度)
小規模保育事業所の開設・定員増	宿舍借り上げ支援 月額最大82,000円の家賃助成 (H29年度～H33年度)
保育事業者への市単独補助金を新設 【整備費・運営費】	保育所等の最優先入所 (H30年度, H31年度)
幼稚園への市単独補助金を新設 【長時間預かり保育】	スキルアップ研修（合同研修、公開保育等）
既存園の建て替えによる定員増	相談体制（巡回相談、休日相談）



現状

～約4割が戸田市での保育士を辞めたい～

質問：今後も保育士として働き続けたいですか？

「今後は市外で保育士として働きたい」(22.4%)

「今後は保育士を辞め、保育士以外の職種で働きたい」(20.7%)



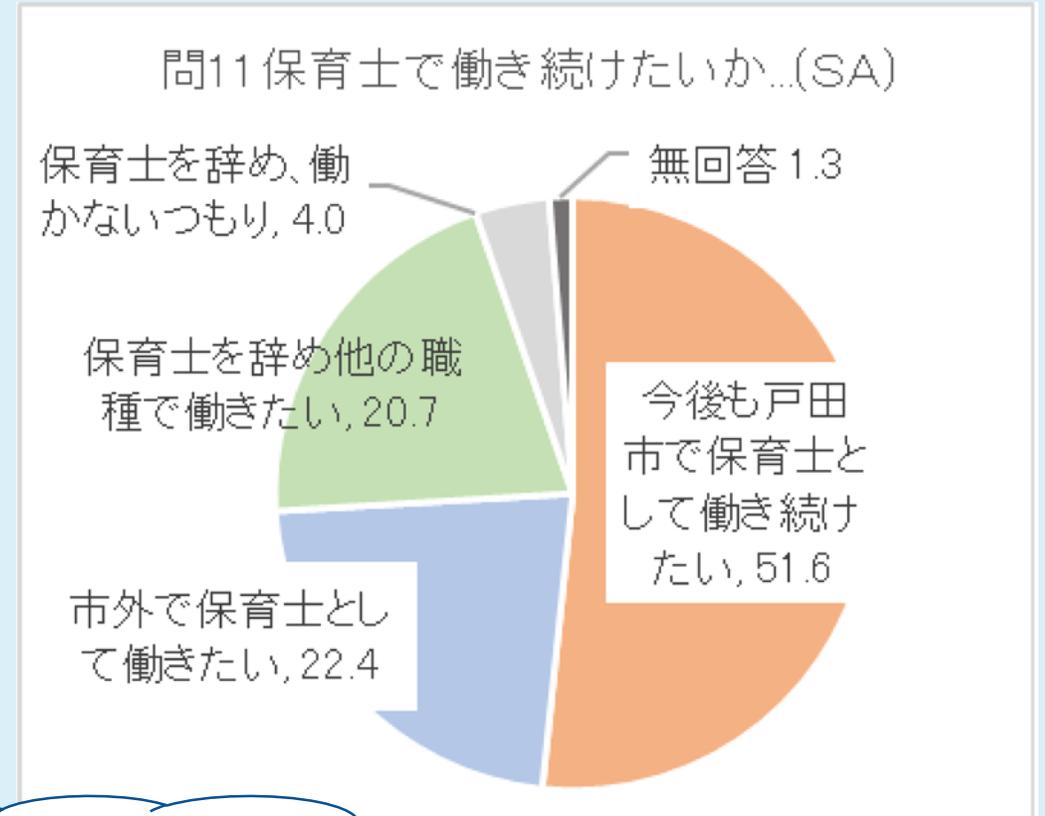
戸田市での保育士を辞める意向がある人

約4割

戸田市保育士アンケート調査報告書（平成30年1月）より

保育士が足りない・・・

保育士が辞めてしまう・・・



とだの保育創造プロジェクト会議 ～産学官協働による保育人材確保・定着化事業～

長期的・安定的な保育人材の確保や定着化を図り、質の高い保育を続けていくためには・・・

園単独の取り組みだけ× 経済的支援だけ×

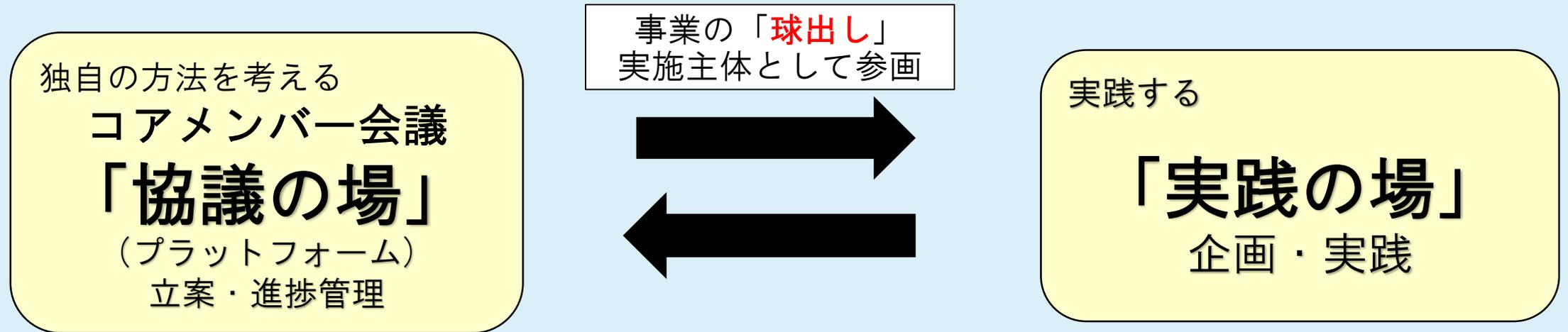
戸田市の保育全体を魅力あるものとしていくことが重要！！

- ①保育人材の確保
- ②保育人材の定着化
- ③戸田市の保育の魅力アップ

上記3つのテーマに沿って産学官協働で協議を行い、保育士の処遇改善だけでなく、職場環境の充実や戸田の保育の魅力アップ、保育の質の向上等について立案・実践する。

量→質への転換

プロジェクトの進め方



取組状況の「**フィードバック**」
(進捗状況や課題の確認、成功事例の共有)

「協議の場」

「魅力あるとだの保育を創造する」という共通ビジョンをもち、課題を共有し、その解決に向けて効果のある取組を出し合い、実践につなげる「場所」。保育事業者と市を中心に、助言をいただく学識経験者などを加えた会議体。メンバーは別紙のとおり。

「実践の場」

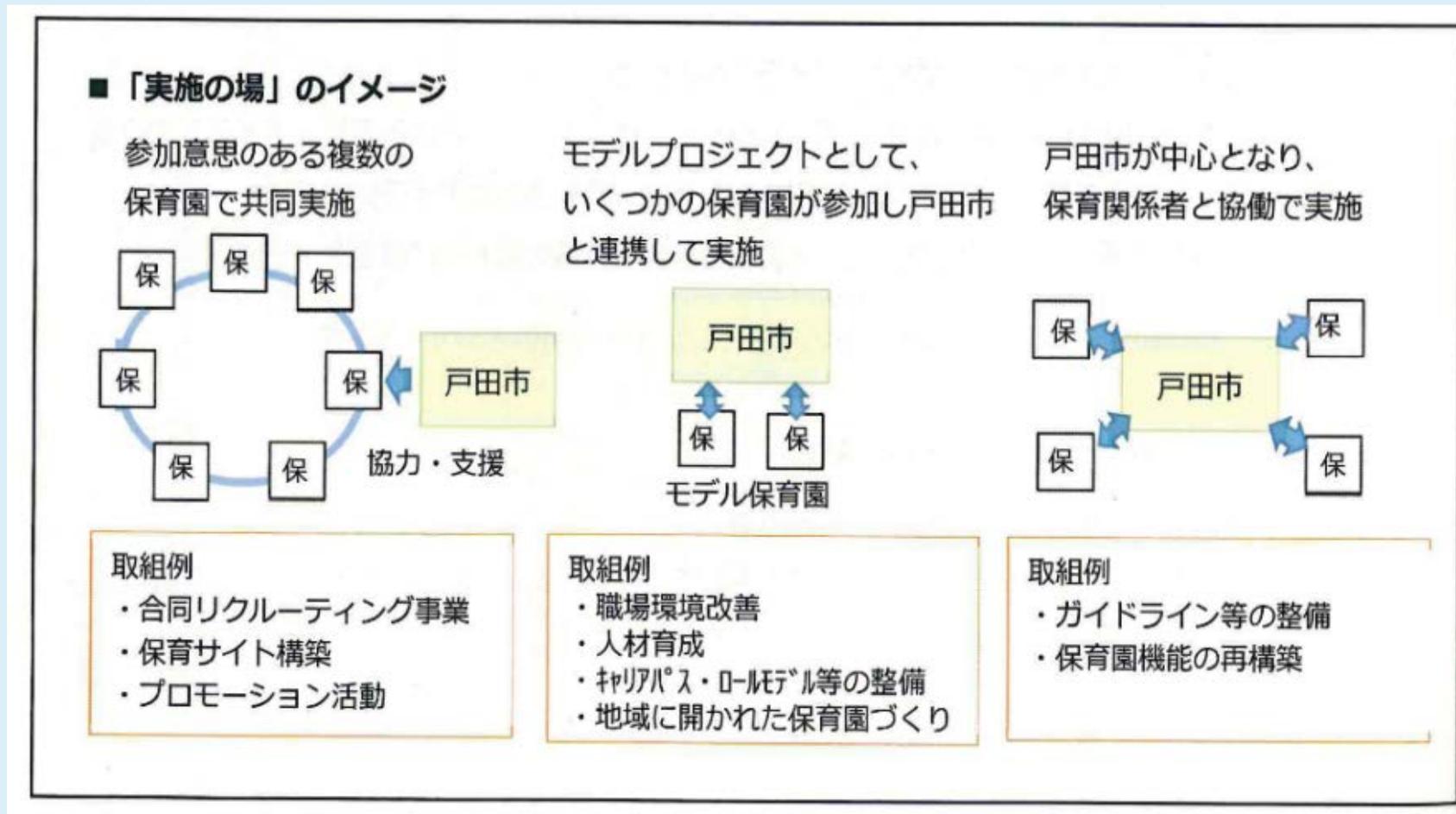
「協議の場」で検討・立案した具体的な取組を、具体的に企画・実現する実行部隊となる「場所」。取組ごとに、場を作る。テーマや取組の性質に合わせて人選。参加したい保育園が参加可能。

協議の場の構成員（コアメンバー）

区分		人数	
構成員	学識経験者		2名
	保育関係者	公立保育園	2名
		私立保育園協会	5名
		小規模保育連絡会	2名
	行政	戸田市	2名
運営	戸田市		
運営支援	パシフィックコンサルタンツ株式会社		
オブザーバー	検討中		

実践の場の手法

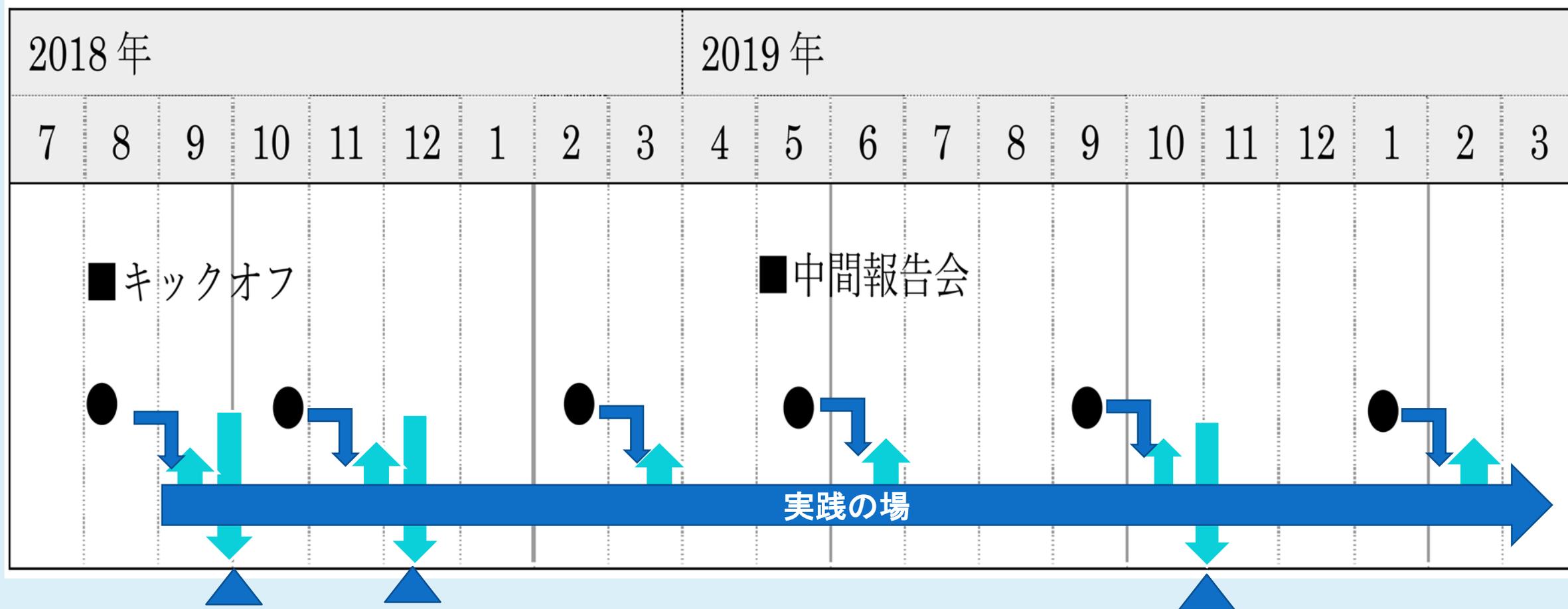
協議の場で決めた内容によって、実践の場の手法は様々なパターンが考えられる。



今後のスケジュール（案）

※スケジュールは変動します。

- 協議の場（コアメンバー会議）
- ↩ 提案
- ↑ フィードバック
- ▲ 園長会議、小規模保育連絡会等



このプロジェクトから期待される効果

協議の場で課題を共有し、実践の場で各保育園が取り組みを行うことで・・・
各園での課題解決、人材確保、連携強化等々が期待できる。

それぞれの園が

魅力的

働きやすい

質が高い



保育士

選ばれる保育園

保護者

戸田市の保育全体の魅力UP！！

ご清聴ありがとうございました。

